

生涯学習に関するアンケート集計結果

(令和5年1月実施)

県では、平成31年3月に「第3期滋賀県教育振興基本計画」を策定し、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに取り組んでいるところです。
 本計画において県が目指す姿への到達状況について、成果や達成状況を把握するための数値目標を設定し、毎年点検・評価を行い、施策の展開に反映していきます。そこで「生涯学習の場の充実」に関する県民の方々の意識調査を目的として、アンケート調査を実施しました。

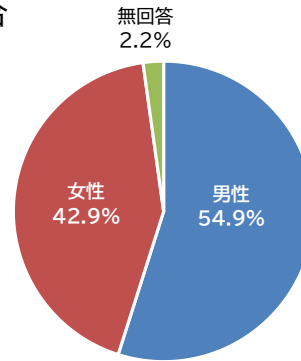
◆調査時期：令和5年(2023年)1月
 ◆対象者：県政モニター 296人
 ◆回答数：226人(回答率 76.4%)
 ◆担当課：教育委員会事務局 生涯学習課
 (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	124	54.9
女性	97	42.9
無回答	5	2.2
合計	226	100.0

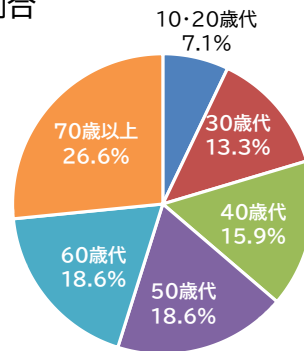
性別割合



◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	16	7.1
30歳代	30	13.3
40歳代	36	15.9
50歳代	42	18.6
60歳代	42	18.6
70歳以上	60	26.6
合計	226	100.0

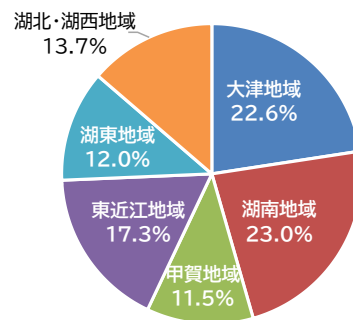
年代別割合



◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	51	22.6
湖南地域	52	23.0
甲賀地域	26	11.5
東近江地域	39	17.3
湖東地域	27	12.0
湖北・湖西地域	31	13.7
合計	226	100.0

地域別割合



生涯学習の現状について

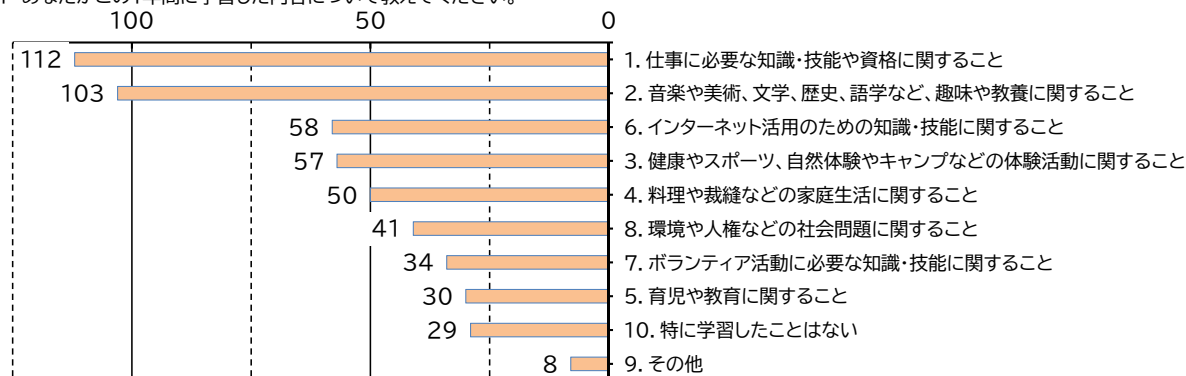
問1 あなたがこの1年間に学習した内容について教えてください。

(「10. 特に学習したことはない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	112	49.6
2. 音楽や美術、文学、歴史、語学など、趣味や教養に関すること	103	45.6
3. 健康やスポーツ、自然体験やキャンプなどの体験活動に関すること	57	25.2
4. 料理や裁縫などの家庭生活に関すること	50	22.1
5. 育児や教育に関すること	30	13.3
6. インターネット活用のための知識・技能に関すること	58	25.7
7. ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	34	15.0
8. 環境や人権などの社会問題に関すること	41	18.1
9. その他	8	3.5
10. 特に学習したことはない	29	12.8

問1 あなたがこの1年間に学習した内容について教えてください。



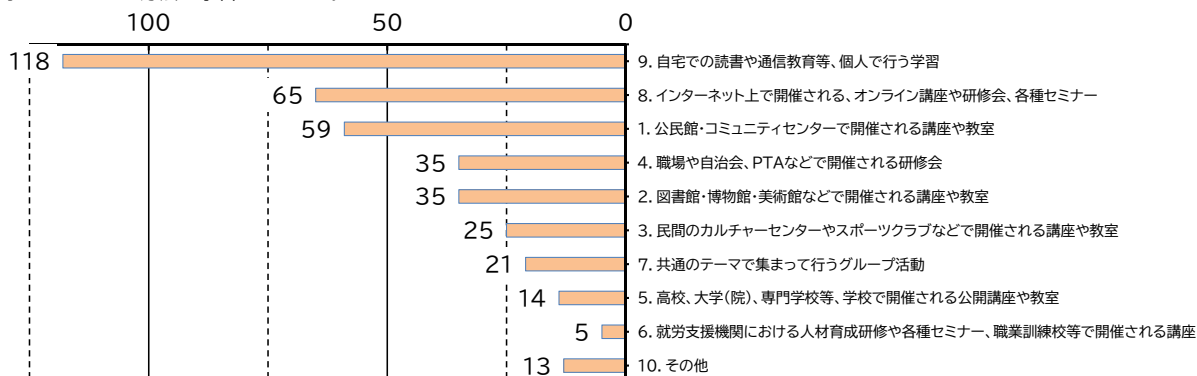
問2 どのような方法で学習しましたか。

(回答チェックはいくつでも)

(n=197)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 公民館・コミュニティセンターで開催される講座や教室	59	30.0
2. 図書館・博物館・美術館などで開催される講座や教室	35	17.8
3. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどで開催される講座や教室	25	12.7
4. 職場や自治会、PTAなどで開催される研修会	35	17.8
5. 高校、大学(院)、専門学校等、学校で開催される公開講座や教室	14	7.1
6. 就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校等で開催される講座	5	2.5
7. 共通のテーマで集まって行うグループ活動	21	10.7
8. インターネット上で開催される、オンライン講座や研修会、各種セミナー	65	33.0
9. 自宅での読書や通信教育等、個人で行う学習	118	59.9
10. その他	13	6.6

問2 どのような方法で学習しましたか。



生涯学習の現状について

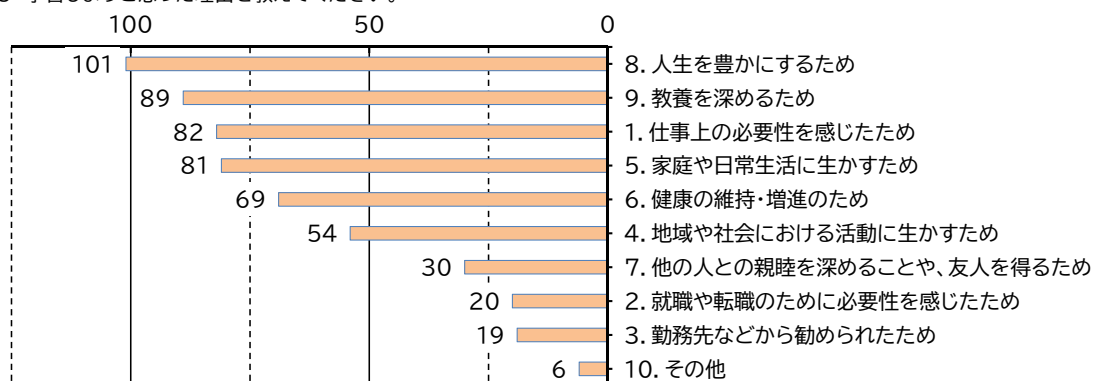
問3 学習しようと思った理由を教えてください。

(回答チェックはいくつでも)

(n=197)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事上の必要性を感じたため	82	41.6
2. 就職や転職のために必要性を感じたため	20	10.2
3. 勤務先などから勧められたため	19	9.6
4. 地域や社会における活動に生かすため	54	27.4
5. 家庭や日常生活に生かすため	81	41.1
6. 健康の維持・増進のため	69	35.0
7. 他の人との親睦を深めることや、友人を得るため	30	15.2
8. 人生を豊かにするため	101	51.3
9. 教養を深めるため	89	45.2
10. その他	6	3.1

問3 学習しようと思った理由を教えてください。



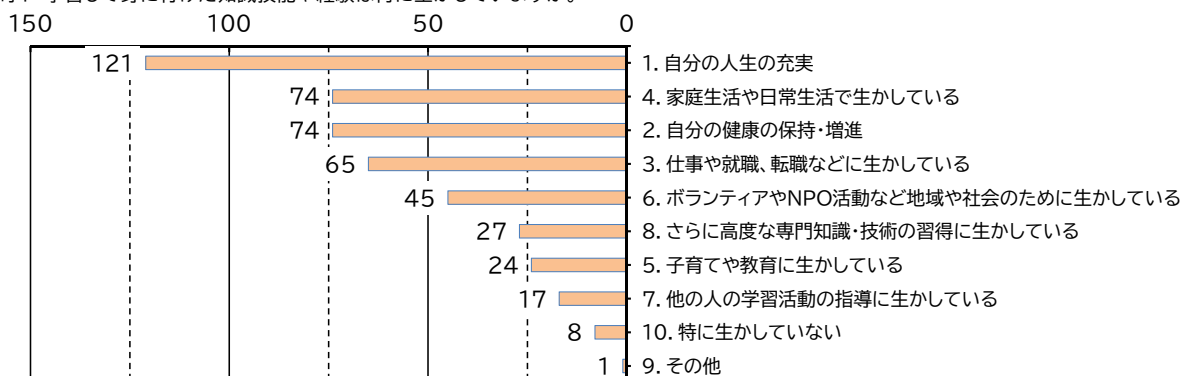
問4 学習して身に付けた知識技能や経験は何に生かしていますか。

(「10. 特に生かしていない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも)

(n=197)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自分の人生の充実	121	61.4
2. 自分の健康の保持・増進	74	37.6
3. 仕事や就職、転職などに生かしている	65	33.0
4. 家庭生活や日常生活で生かしている	74	37.6
5. 子育てや教育に生かしている	24	12.2
6. ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている	45	22.8
7. 他の人の学習活動の指導に生かしている	17	8.6
8. さらに高度な専門知識・技術の習得に生かしている	27	13.7
9. その他	1	0.5
10. 特に生かしていない	8	4.1

問4 学習して身に付けた知識技能や経験は何に生かしていますか。



生涯学習の現状について

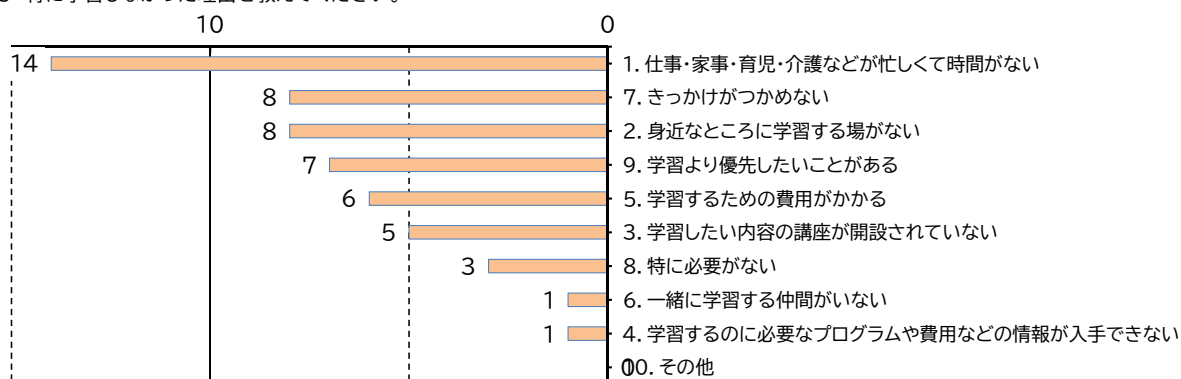
問5 特に学習しなかった理由を教えてください。

(回答チェックはいくつでも)

(n=29)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	14	48.3
2. 身近なところに学習する場がない	8	27.6
3. 学習したい内容の講座が開設されていない	5	17.2
4. 学習するのに必要なプログラムや費用などの情報が入手できない	1	3.5
5. 学習するための費用がかかる	6	20.7
6. 一緒に学習する仲間がいない	1	3.5
7. きっかけがつかめない	8	27.6
8. 特に必要がない	3	10.3
9. 学習より優先したいことがある	7	24.1
10. その他	0	0.0

問5 特に学習しなかった理由を教えてください。



今後、学習したいと思うことについて

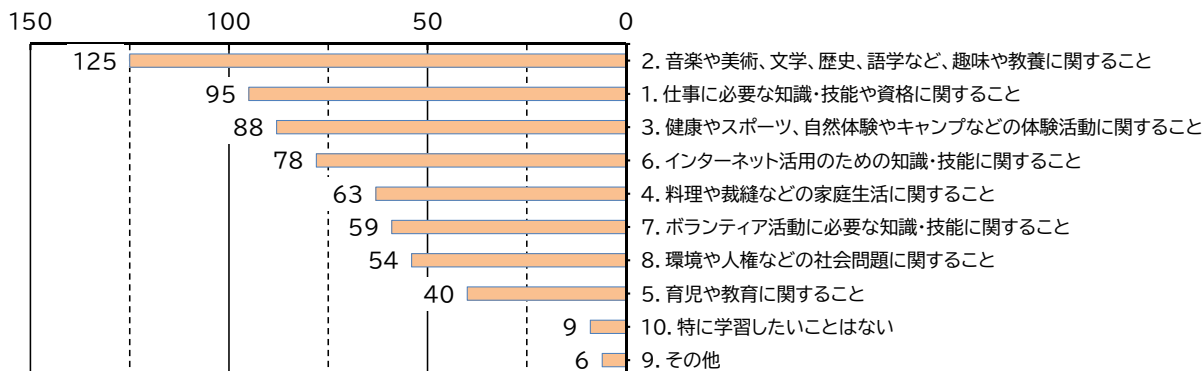
問6 何を学習したいですか。

(「10. 特に学習したいことはない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事に必要な知識・技能や資格に関する事	95	42.0
2. 音楽や美術、文学、歴史、語学など、趣味や教養に関する事	125	55.3
3. 健康やスポーツ、自然体験やキャンプなどの体験活動に関する事	88	38.9
4. 料理や裁縫などの家庭生活に関する事	63	27.9
5. 育児や教育に関する事	40	17.7
6. インターネット活用のための知識・技能に関する事	78	34.5
7. ボランティア活動に必要な知識・技能に関する事	59	26.1
8. 環境や人権などの社会問題に関する事	54	23.9
9. その他	6	2.7
10. 特に学習したいことはない	9	4.0

問6 何を学習したいですか。



今後、学習したいと思うことについて

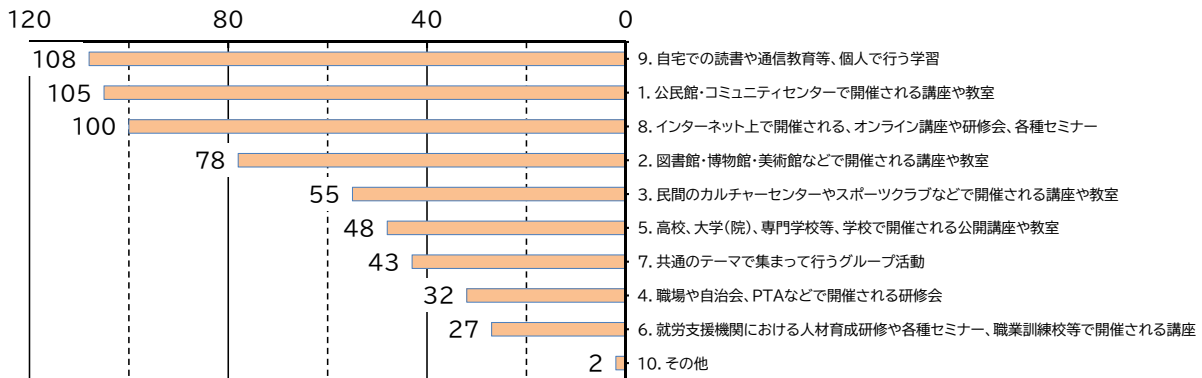
問7 どのような方法で学習したいですか。

(回答チェックはいくつでも)

(n=217)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 公民館・コミュニティセンターで開催される講座や教室	105	48.4
2. 図書館・博物館・美術館などで開催される講座や教室	78	35.9
3. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどで開催される講座や教室	55	25.4
4. 職場や自治会、PTAなどで開催される研修会	32	14.8
5. 高校、大学(院)、専門学校等、学校で開催される公開講座や教室	48	22.1
6. 就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校等で開催される講座	27	12.4
7. 共通のテーマで集まって行うグループ活動	43	19.8
8. インターネット上で開催される、オンライン講座や研修会、各種セミナー	100	46.1
9. 自宅での読書や通信教育等、個人で行う学習	108	49.8
10. その他	2	0.9

問7 どのような方法で学習したいですか。



学習成果の活用について

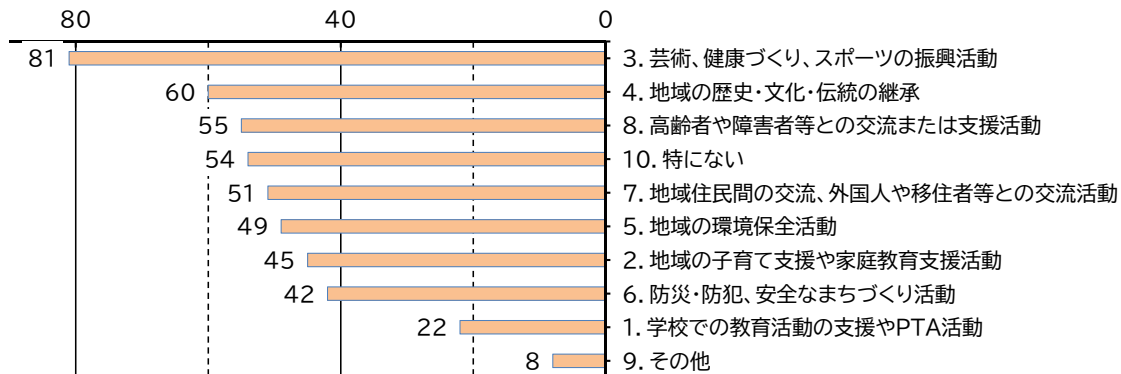
問8 学習の成果を社会に生かせると思うのはどんな場面ですか。

(「10. 特にない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 学校での教育活動の支援やPTA活動	22	9.7
2. 地域の子育て支援や家庭教育支援活動	45	19.9
3. 芸術、健康づくり、スポーツの振興活動	81	35.8
4. 地域の歴史・文化・伝統の継承	60	26.6
5. 地域の環境保全活動	49	21.7
6. 防災・防犯、安全なまちづくり活動	42	18.6
7. 地域住民間の交流、外国人や移住者等との交流活動	51	22.6
8. 高齢者や障害者等との交流または支援活動	55	24.3
9. その他	8	3.5
10. 特にない	54	23.9

問8 学習の成果を社会に生かせると思うのはどんな場面ですか。



学習に関する情報の入手方法について

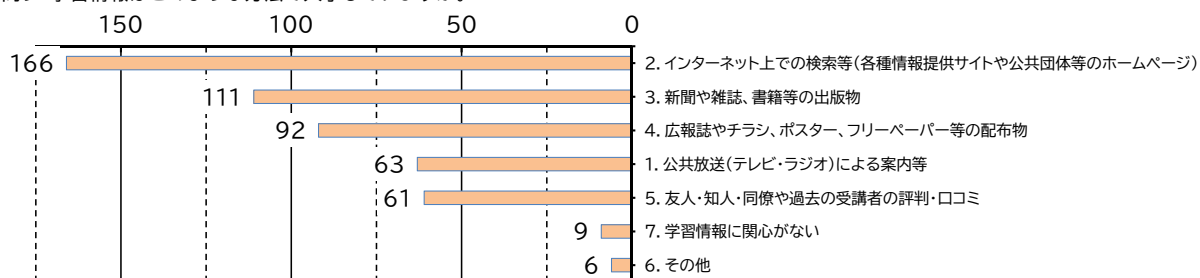
問9 学習情報はどのような方法で入手していますか。

(「7. 学習情報に関心がない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 公共放送(テレビ・ラジオ)による案内等	63	27.9
2. インターネット上での検索等(各種情報提供サイトや公共団体等のホームページ)	166	73.5
3. 新聞や雑誌、書籍等の出版物	111	49.1
4. 広報誌やチラシ、ポスター、フリーペーパー等の配布物	92	40.7
5. 友人・知人・同僚や過去の受講者の評判・口コミ	61	27.0
6. その他	6	2.7
7. 学習情報に関心がない	9	4.0

問9 学習情報はどのような方法で入手していますか。



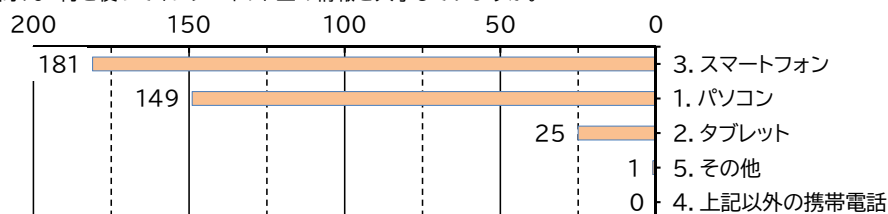
問10 何を使ってインターネット上の情報を入手していますか。

(回答は2つまで)

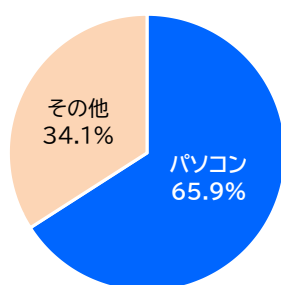
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. パソコン	149	65.9
2. タブレット	25	11.1
3. スマートフォン	181	80.1
4. 上記以外の携帯電話	0	0.0
5. その他	1	0.4

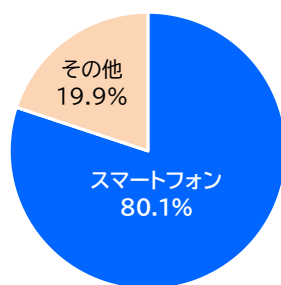
問10 何を使ってインターネット上の情報を入手していますか。



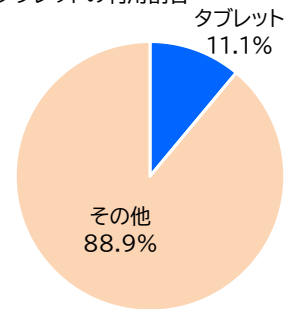
パソコンの利用割合



スマホの利用割合



タブレットの利用割合



滋賀県学習情報提供システム「におねっと」について

「におねっと」は、県民の主体的な生涯学習を支援するため、県内で開催される講座などの学習情報を一元化して提供している県のHP。視聴覚教材の貸出予約や学習相談の受付等を行っています。

問11 この1年間に「におねっと」をどの程度利用されましたか。

(回答は1つだけ)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 頻繁に(ほぼ毎週)利用・閲覧した	2	0.9
2. 時々(月数回程度)利用・閲覧した	11	4.9
3. 何度か(年数回程度)利用・閲覧した	29	12.8
4. 名前は知っていたが、利用したことはない	72	31.9
5. このアンケートではじめて「におねっと」を知った	112	49.6
合計	226	100.0

問11で利用したことがないと回答された方も、お手数ですがサイトを閲覧いただきお答えください。【サイトの詳細URL】
<https://www.nionet.jp>

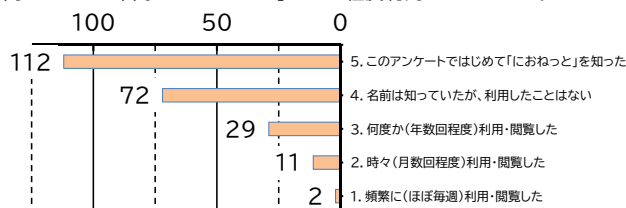
問12 提供している情報内容への満足度をお答えください。

(回答は1つだけ)

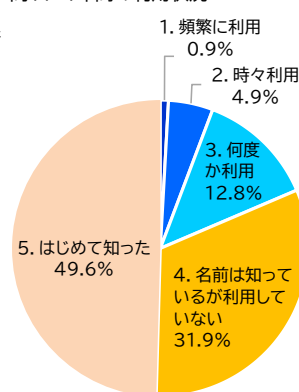
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満足	13	5.8
2. どちらかといえば満足	134	59.3
3. どちらかといえば不満	70	31.0
4. 不満	9	4.0
合計	226	100.0

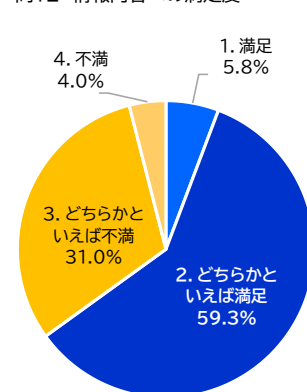
問11 この1年間に「におねっと」をどの程度利用されましたか。



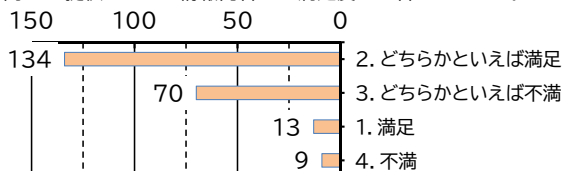
問11 1年間の利用状況



問12 情報内容への満足度



問12 提供している情報内容への満足度をお答えください。



理由をお聞かせください。

● 1. 満足

- ・ いろいろな内容が載っていて、学びの場がいくらでもあることがわかる。
- ・ 「におねっと」を通じて自分が所属している出前講座の依頼がきたので、有意義だと感じた。

● 2. どちらかといえば満足

- ・ 学習情報提供システムは、よくできている。子ども達から老人に至る世代まで、魅力的な情報がある。
- ・ 選択肢が多く、検索も簡単である。
- ・ 少しごちゃごちゃしたHPではあるが、興味ある項目が満載である。
- ・ 防災の出前講座で、私どもの自治会に役に立ちそうな講座があり、活用してみたいものが見つかった。
- ・ 初めて閲覧したが、非常にわかりやすいと感じた。
- ・ 今まで「におねっと」を知らなかったが、サイトを見て、受けてみたい講座や募集が多岐にわたり掲載されており利用してみたくなった。
- ・ 今は、自分にとって興味が無いものばかりだが、どこかのタイミングで必要となるかもしれないと感じた。
- ・ 様々な地域での催しが見られて便利だと思ったが、自宅近くに限定すると市の広報に載ってる以上の情報はあまりないという印象を受けた。

滋賀県学習情報提供システム「におねっと」について

問12 提供している情報内容への満足度をお答えください。

理由をお聞かせください。

● 3. どちらかといえば不満

- ・ ホームページがごちゃごちゃしていて必要な情報にスムーズにたどり着けない。ちょっと見ただけでは掲載目的を把握するまでに時間が必要であり、使い方がよくわからない。
- ・ スマホからアクセスした場合は、スマホ用の画面に切り替わるように変えたほうが見やすいと思う。スマートフォンで閲覧するには情報量が多すぎて見にくい。
- ・ この講座検索機能では、探しづらい。また、住んでいる地域での活動や講座情報が少なく残念に思う。
- ・ 内容はすごくよさそうなのに、一昔前のHPを連想させて見づらい。必要な情報を探すのに、時間がかかり、操作の途中でめんどろになる印象である。
- ・ 参加したいと思える内容が少なく、偏りがあり、欲しい情報になかなか行き当たらない。
- ・ 紹介されている講座情報は申し込み締め切り済みのものもあり、地域の情報は市のサイト内から検索する方が探しやすいと思った。
- ・ 無料の動画や講座の充実、また、それらへのリンクをもっと増やして欲しい。いちいち視聴覚教材を借りに行くというのは不便である。
- ・ メール等で、情報を発信して欲しい。

● 4. 不満

- ・ 画面の色が薄く、フォントの色に統一感がなく、閲覧しづらいです。
- ・ 検索の方法が難しい。土日講座の検索方法がわからないから。
- ・ 以前は高校での開講講座があり、年寄りでも参加できましたが、今はなくなって残念です。

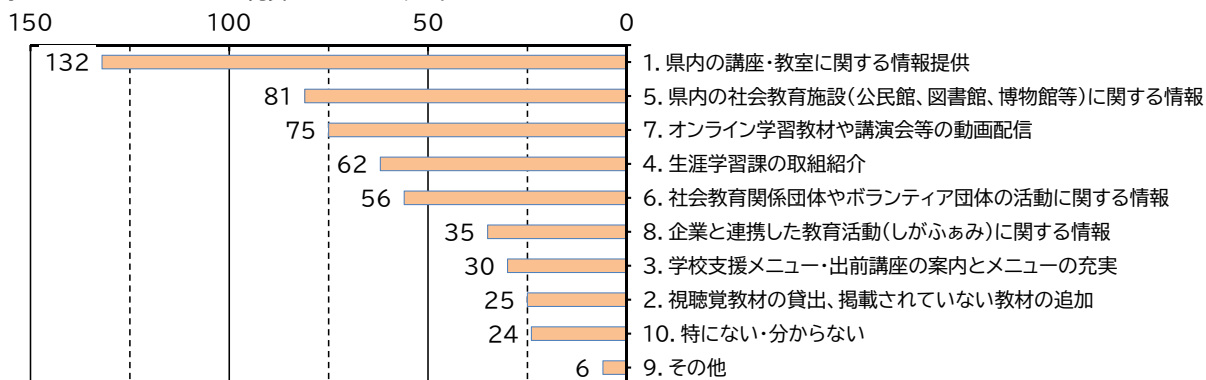
問13 どのようなサービスを充実してほしいですか。

(「10. 特にない・分からない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県内の講座・教室に関する情報提供	132	58.4
2. 視聴覚教材の貸出、掲載されていない教材の追加	25	11.1
3. 学校支援メニュー・出前講座の案内とメニューの充実	30	13.3
4. 生涯学習課の取組紹介	62	27.4
5. 県内の社会教育施設(公民館、図書館、博物館等)に関する情報	81	35.8
6. 社会教育関係団体やボランティア団体の活動に関する情報	56	24.8
7. オンライン学習教材や講演会等の動画配信	75	33.2
8. 企業と連携した教育活動(しがふあみ)に関する情報	35	15.5
9. その他	6	2.7
10. 特にない・分からない	24	10.6

問13 どのようなサービスを充実してほしいですか。



滋賀県学習情報提供システム「におねっと」について

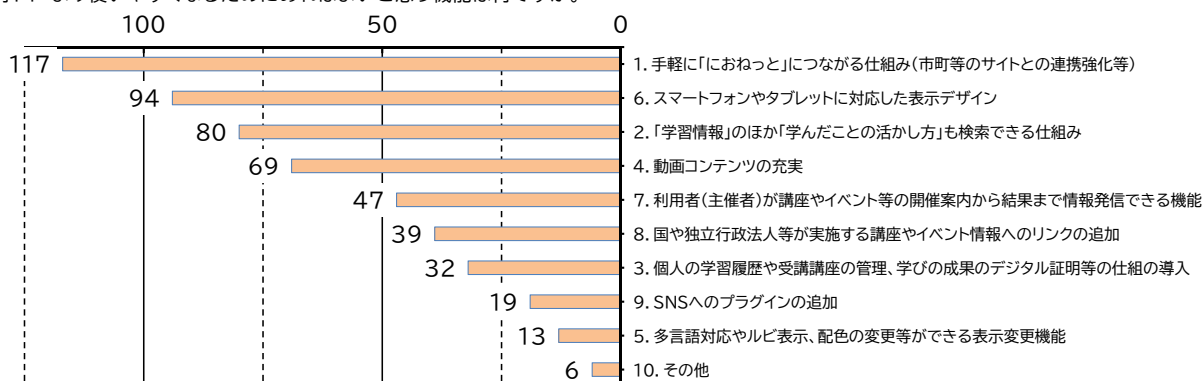
問14 より使いやすくなるためにあればよいと思う機能は何ですか。

(回答チェックはいくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 手軽に「におねっと」につながる仕組み(市町等のサイトとの連携強化等)	117	51.8
2. 「学習情報」のほか「学んだことの活かし方」も検索できる仕組み	80	35.4
3. 個人の学習履歴や受講講座の管理、学びの成果のデジタル証明等の仕組みの導入	32	14.2
4. 動画コンテンツの充実	69	30.5
5. 多言語対応やルビ表示、配色の変更等ができる表示変更機能	13	5.8
6. スマートフォンやタブレットに対応した表示デザイン	94	41.6
7. 利用者(主催者)が講座やイベント等の開催案内から結果まで情報発信できる機能	47	20.8
8. 国や独立行政法人等が実施する講座やイベント情報へのリンクの追加	39	17.3
9. SNSへのプラグインの追加	19	8.4
10. その他	6	2.7

問14 より使いやすくなるためにあればよいと思う機能は何ですか。



すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習の振興について

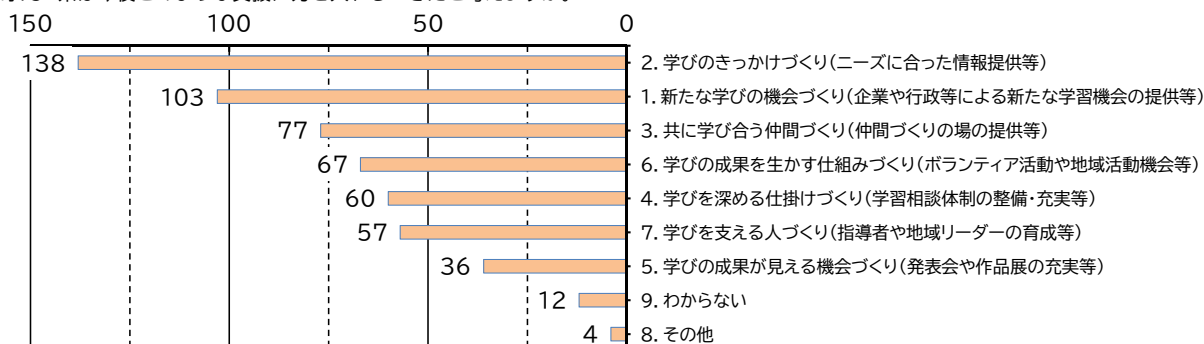
問15 県は今後どのような支援に力を入れるべきだと考えますか。

(「9. わからない」を選択した人以外は、回答チェックはくつでも)

(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 新たな学びの機会づくり(企業や行政等による新たな学習機会の提供等)	103	45.6
2. 学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供等)	138	61.1
3. 共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供等)	77	34.1
4. 学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実等)	60	26.6
5. 学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品展の充実等)	36	15.9
6. 学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動機会等)	67	29.7
7. 学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成等)	57	25.2
8. その他	4	1.8
9. わからない	12	5.3

問15 県は今後どのような支援に力を入れるべきだと考えますか。



問16 今後の生涯学習の取組についてご意見をお聞かせください。

生涯学習の推進に関するご意見がありましたら、お聞かせください。(400字以内)

(抜粋)

- ・あらゆる機会をとらえて、「人生100年時代を生きる」術として「生涯学習の推進」はとても重要です。もっと滋賀県と各自治体が一緒になって、こうした「生涯学習の推進」を続けていくべきです。
- ・コロナ禍でもあり、インターネット講座の充実とそれらに関連してSNS交流できるようにすれば良いと思います。それで活発に意見交流できてから、会って交流を深め知識を深めるという方が良いのではないかと。
- ・どうしても湖北地域では機会が少ないので、オンラインで学べるシステムを強化願いたい。但し、高齢者でも対応しやすいようなものを望みます。
- ・家の近くで、興味を持っている分野の講座を受講しましたが、いずれも望んでいるものと違い、継続しませんでした。受講生によって望むものが違うと思うので、もう少しレベル設定などを幅広くしていただくと嬉しいです。
- ・学んだことを、共有したり広げることが大切だと思います。でも、私は自己啓発だけでもいいと思います。学習の機会を提供してもらおうと、参加することもっと気軽に勉強したいです。
- ・基本的に生涯学習は、本人の自覚がないと成り立たないと考えています。したがって、やる気にさせるような仕組み作りが大事ではないでしょうか。
- ・興味がある、受けたい講座があっても、平日の昼間は参加が難しいです。働いている人こそ、たぶん、会社以外の幅広い世界を知る必要があります。今は、Zoomでも顔合わせが可能ですし、その後繋がりが続くこともできます。学ぶ時間以外の時間(交通時間、参加するための準備)をかけない講座の開催を、積極的に企画して欲しいです。
- ・隙間時間で学ぶ事が望ましいのですが、子どもがいるとなかなかタイミングが合わず腰が上がりません。今日行きたい、又は今日知りたいがかなう仕組みを作って頂きたい。動画配信でも良いです。
- ・仕事をフルタイムでしながらでも、気楽に学習できる場があって、そのまま退職後も、続けていけると老後の生活にも楽しみができる人が増えていくように思います。
- ・仕事を引退した人向けの講座が多いかな、という印象です。子育て世代には託児がなかったり、仕事に結びつかない講座はなかなか受ける余裕がないと思います。
- ・子育てが一段落した女性、シニア女性の自己啓発の生涯学習の取組みが少ないようです。多様な人、ニーズに合った講座等を企画・掲載いただけますと幸いです。
- ・子どもたちから学ぶことが多いので、子どもたちに広告など入れて教えてほしいです。
- ・啓発活動を地域に広げてほしいです。地方から越して来たマンション暮らしにはあまり情報が入ってこないです。
- ・生涯学習の推進については、滋賀県として「学びの機会づくりやきっかけづくり」について、あらゆる方法で県民に広く発信して欲しい。場合によっては、市町村と連携して発信して欲しい。例えば、「市の広報」などは日常的に見慣れているが、「県の広報」などはそうではない。そのため「生涯学習の推進」に対するハードルが高いように感じる。滋賀県と市町が上手く連携すれば、「生涯学習の推進」へのハードルが下がり、より身近なものになると思います。
- ・個人や、店舗などのセミナーやワークショップなども「におねつ」上に発信できる掲示板のような仕組みができるともっともっと広がるのでは？と感じました。SNSなどで「におねつ」をもっと広く広告することや、個人のつながりや企業や店舗など協力を得て広報するとよいと思います。
- ・子どもができてからは、個人での学習はオンラインか書籍などで行えるものを選ぶようになりました。子どもと一緒に参加できるような体験型の学習なら積極的に参加したいです。
- ・生涯学習の推進や機会は、人それぞれであるが、自らの知識や技能を向上していくためには、人と人が教えあう環境を作ることが大切であり、年に何回かテーマを定めて発表する場の提供も必要であろうと考えます。
- ・税金が使われているのは確かなので、市と県と同じような取り組みにならないようにしてほしいです。
- ・今の50代、60代はまだまだ社会に貢献できると思います。大人の学び直しにもっと力を入れてほしいです。
- ・誰もがどの時間帯でも利用できるように、ネットを活用した学習環境づくりの推進を希望します。
- ・年齢が高くなる程、生涯学習について何かできればと思っている人は多いのではないかと感じます。学習した事の発表やイベントも県や市町村で何らかの形で行われています。行政や学習機会があり、学習したい人には広い受け入れがなされています。これは有難いことなのですが、人生100年時代となり、乗り物を利用しないと学びの機会に参加できない人には生涯学習が難しいです。車の運転ができ、出かけられる間は習い事も継続できますが、そうでなくなった時からの高齢者の生涯学習も必要ではないかと思っています。
- ・やってみたい事は沢山あります。学んでから何かをするではなく、学びながら何かをする仕組みがあると良いと思います。何かを始めると、知識欲求が出てきます。そのため、ボランティア活動等の参加の機会を広げ、その中で知識を学べる機会があると良いと思います。
- ・人生100年時代に突入し、今や滋賀県民の平均寿命は全国でもトップクラスとなっています。そんな中で子どもから高齢者、また県内在住の外国人など多様性のある県内在住の滋賀県民の誰もが学ぶ喜びを享受し、成果をあげることができるという機会を提供することが、生涯学習の推進に係る責務だと思います。そのためにはこの仕組みを教育委員会だけでクローズせず、県の各部局とも協調してもっと大胆に仕組みづくりに取り組んで、幅広いコンテンツを収集し、また場所や人材・設備も共有するという取り組みが必要ではないかと考えます。県民は学ぶ喜びに飢えています。